

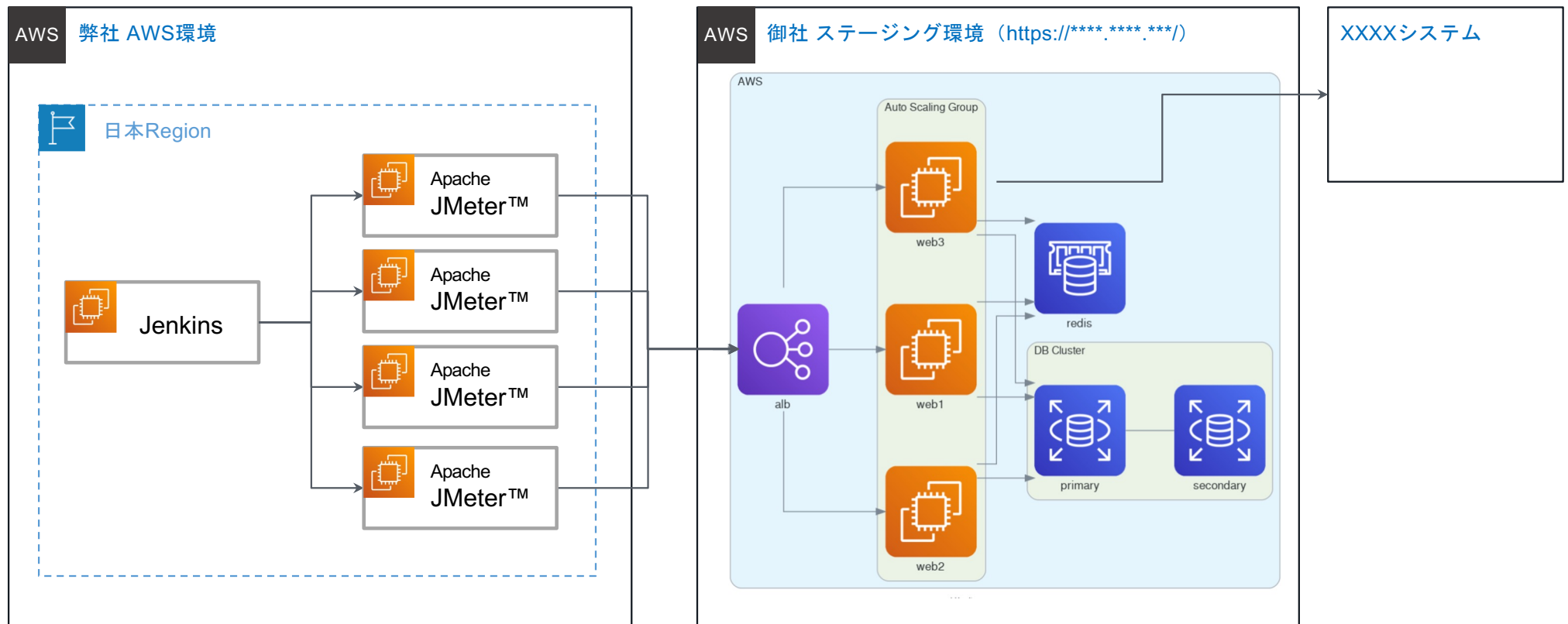
# 実施内容 テスト実施環境

SAMPLE

※ 報告書の一部を抜粋

## ■ 実施環境

- 本検証での実施環境は以下を想定しております。



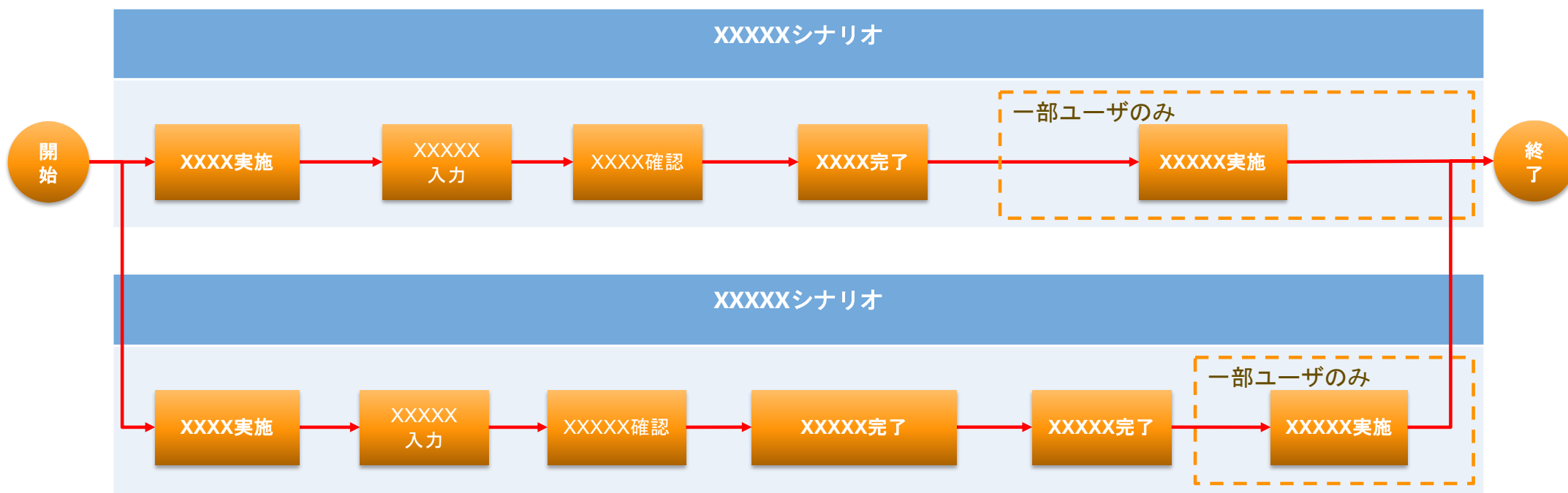
# 実施内容 シナリオ概要

SAMPLE

※ 報告書の一部を抜粋

## ■ シナリオ概要

- 本検証で実施を想定しております、シナリオの概要は以下となります。



<確認事項>

- 確認事項記載

# 結果詳細 ケース1 – 実施結果

SAMPLE

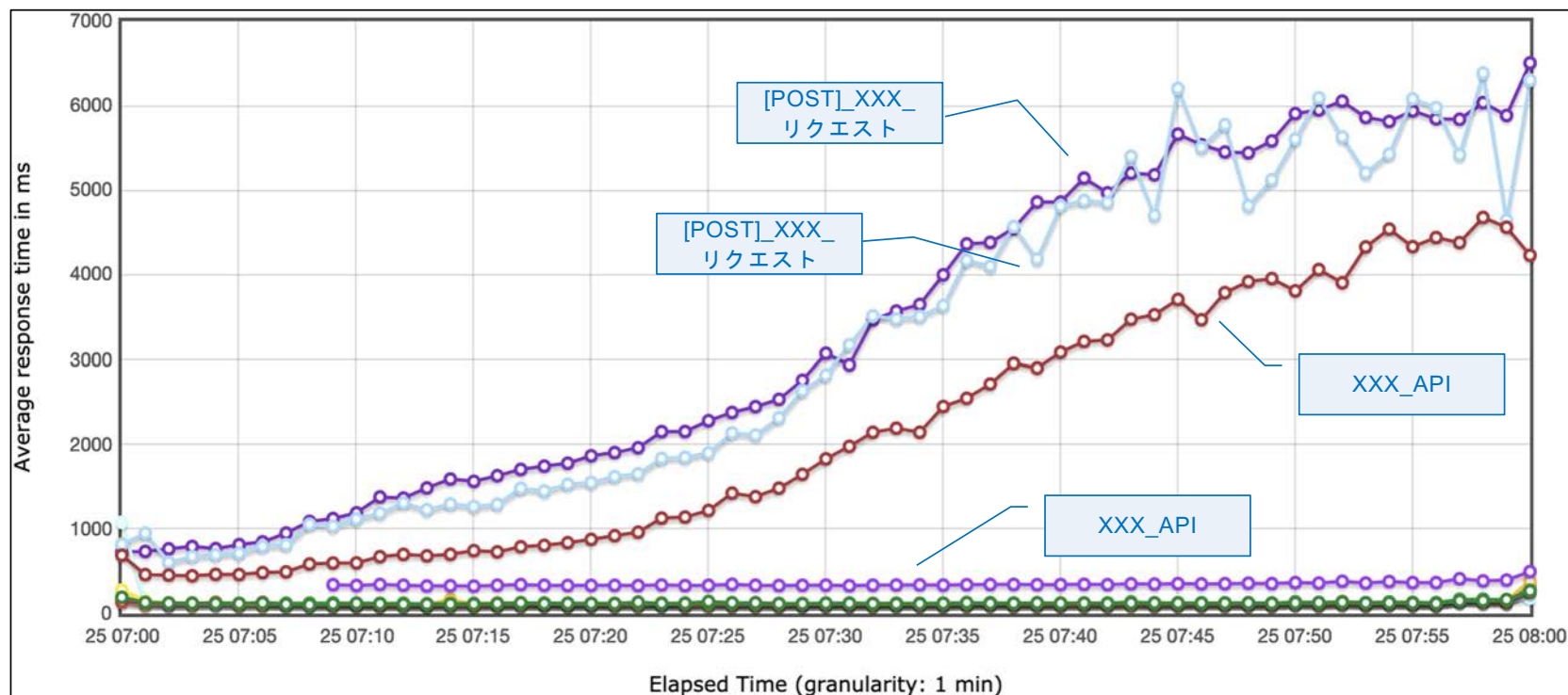
※ 報告書の一部を抜粋

## 時系列のレスポンスタイム

[POST]\_XXX\_リクエスト、[POST]\_XXX\_リクエストが開始から約30分でレスポンスが3000msを超えており、最終的に6000ms近い値となっている。

XXX\_APIも約30分以降2000msを超えており、最終的に4500ms程度となっている。

その他のリクエスト・APIについては10万ユーザの負荷量を超えても性能劣化の傾向はなかった。



### グラフの見方

横軸：実施時間 (UTC)

縦軸：応答時間

# 目標性能の評価

SAMPLE

※ 報告書の一部を抜粋

## 目標性能の評価

本検証の目標性能である5万ユーザ（34RPS）での実施結果について、全体としては、エラーレスポンスの頻発や、全体的なレスポンスタイムの低下は発生はせず、**安定した結果と判断できる。**

しかしながら、本測定において、以下操作については、平均値で1秒を超える応答時間となった。

- [POST]\_XXX\_リクエスト
- XXX\_API

本PJにおいては、各リクエスト・APIの性能目標値は明文化されていない為、上記操作の応答時間についての合否判断はできないが、該当操作の利用用途や、ユーザへの見え方などから、**性能改善の要否を検討する必要があると考える。**

## (再掲) 5万ユーザ – リクエスト・API別実施結果

操作	想定 負荷量 (req/秒)	実測 負荷量 (req/秒)	平均応答時間 (ms)	合計エラー 数	エラー率
[GET]_XXX_リクエスト	1	1.0	103.03	0	0.00%
[POST]_XXX_リクエスト	4	4.0	116.27	0	0.00%
[POST]_XXX_リクエスト	1	1.0	334.08	0	0.00%
[GET]_XXX_リクエスト	13	13.0	111.21	0	0.00%
[POST]_XXX_リクエスト	5	5.2	1300.54	0	0.00%
[POST]_XXX_リクエスト	1	1.1	113.40	0	0.00%
[POST]_XXX_リクエスト	4	4.2	771.25	0	0.00%
[DELETE]_XXX_リクエスト	1	1.0	108.42	0	0.00%
[GET]_XXX_リクエスト	1	1.1	109.42	0	0.00%
XXX_API	1	1.0	1121.67	0	0.00%
XXX_API	1	1.0	104.74	0	0.00%